

# 長崎工業高が1位

生徒や学生らが地元企業と連携して製作した1人乗り小型電動車両の性能を競うコンテストが18日、長崎市星取1丁目のあたご自動車学校であった。

## 長崎 小型電動車両の性能競う



産学官と金融機関でつくるスマコマながさき実行委が2014年から開き、5回目。実行委が提供したモーターを使い、高校生や大学生が電動車両を製作した。自動車関連などの企業が技術的なアドバイスをすることで、県内就職を促す狙いがある。県内外の10チームが参加。4レースの合計タイムで予選を勝ち抜いた4チームが決勝トーナメントに進んだ。

波状路やスラロームなどが組み込まれたコースは、車両の小回りや安定性、操作性が問われ、今年新たに加わった階段に苦戦するチームが続出。県立工業高対決となった決勝戦は、長崎工業が4秒差で鹿町工業を制した。

長崎工業高2年の池田駆さん(16)は「タイヤを大きくしたことで、モーターのパワーが行き渡り、スピードにつながった」と喜びを語った。

(松岡佑佳)

ほかの成績は次の通り。

▽競技 ③長崎大、大村工業高  
▽スマコマ賞(プレゼン) 最優秀  
▽トヨタ自動車九州有志 優秀